

全国にJアラートが聞こえそうだ 着々と進む戦争体制

2022年安倍政権によつて日本の「防衛政策」が「防衛」から公然とした「先制攻撃」に大転換しました。敵国は中国、台湾危機が起これば日本がアメリカと一緒にたてたかという図式です。

日米首脳会議 24年4月10日

首脳の間では日本の自衛隊と米軍の「切れ目のない指揮統制（シームレスな統制）」が合意されました。米軍と自衛隊の実質的合体です。「防衛範囲」はインド太平洋地域まで広がります。大軍拡がさらに加速されることになりました。

史上最大の軍事費の増大、本年度7・9兆円

防衛費7年で43兆円をアメリカへの手土産にした岸田首相はアメリカの国賓待遇でもてなされ、本年度はそれを具体化して7・9兆円の予



和歌山県版

No.394

2024.6.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
和歌山県本部

☎ 640-8343

和歌山市吉田102

国労会館2階

☎ FAX: 073(422)7076

フェイスブック

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟和歌
山県本部

検索

email:chian_gisei
sya@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。

を壊す日英伊次期戦闘機を開発し世界に売り出します

他国に戦闘用機は輸出しないという武器輸出3原則は完全に葬られました。

地方自治法の改悪や経済秘密保護法で国民と自治を縛る

この軍事費を捻出するため国民生活のための予算は当然のごとく切り捨てられ、さらに国民の権利を制限する法律が策定されました。聞きなれない経済秘密保護法や地方自治法の改定です。弾圧法はすでに共謀罪法、秘密保護法などで「基礎」があります。それに地方自治の権限まで奪う反動ぶり。そして憲法改悪で仕上げる意図でしょう。

「新しい戦前」という言葉から「新しい戦中」という言葉も生まれてきています。Jアラートが聞こえないよう踏ん張りましょう。

算を組みました。先制攻撃用のミサイルの購入と開発、音速の5倍を超える750億円の極超音速ミサイルなどその最たるもの。米軍再編のために基地の充実として2000億円と惜しげもなく湯水のごとくの予算です。財界の「有識者」はさらなる増額をもとめています。

日米統合は軍需産業にまで日本ついに死の商人に

首脳会談では「日米防衛産業協力・取得・維持整備定期協議」なるものの創設が合意されました。「中国抑止」のための「ミサイルの共同開発・共同生産」などです。さらに米軍艦・軍用機の維持修繕など日本の軍事産業が請け負うことになりました。それの方が安上がりです。また、それと連動するように平和国家

第20回総会開く

守ろう9条紀の川 市民の会

5月12日に、「守ろう9条紀の川市民の会」が第20回総会を開きました。総会では、昨年11月の第20回憲法フェスタの開催など、2023年度の活動報告や、2024年度の活動計画などを確認。また、引き続き代表委員に原通範氏を選出するなど、8名の運営委員が選出されました。

小松浩・立命館大学教授の「大軍拡・戦争に向かう国にしたいのか―憲法9条を生かした平和外交を」と題した総会記念講演がありました。小松教授は、①国民主権・民主主義・議会制民主主義に反する「閣議決定」。②敵基地攻撃能力の保有。③やはり攻撃されたりではなく、攻撃されないためにはどうするのか。…をポイントに講演。さらに、「日本の民主主義、どこがおかしい」と、安倍一強、自民一強にした小選挙区制に触れ、「9条擁護のため

にも選挙制度改革を運動に位置付ける」必要性を述べられました。(S)

平和大行進で歩いたよ

5月25日、原水爆禁止国民平和大行進・和歌山↓広島コースの和歌山市平和行進に参加しました。10時半過ぎより出発式があり、その後、核廃絶と日本政府は核兵器禁止条約に参加を訴え、和歌山市役所前広場よりけやき大通りから坊主丁交差点、東ぶらくり丁、ぶらくり丁、京橋プロムナードのコースを行進しました。今回は、行進先頭の横断幕を持たせてもらいました。5月19日に85歳になったこともありいい記念になりました。

(和歌山東支部 南條 佳弘)

古座川町議選で当選

6月2日投開票で行われた古座川町議選に立候補していた、国賠同盟会員の洞佳和氏(現)が前回より得票を伸ばし3期目の当選を果たしました。

こだま

6月23日は「沖縄忌」として、歳時記にも掲載されている沖縄慰霊の日だ。「慰霊の日伯父叔母従兄に掌を合わす」この句は、小松譲さん(同盟和歌山北支部・22年7月逝去)が、2016年に詠んだ句です。譲さんは故郷沖縄を愛し、沖縄が「サンフランシスコ平和条約」と「日米安保条約」によつて占領されていた時代、沖縄への往来にはパスポートが必要だった時代の苦労話をよくされていた。◆沖縄の本土復帰は1972年の5月15日だ。終戦後27年間も占領されていたのだ。「県民の4人に1人が犠牲になり、戦後は「銃剣とブルドーザー」による土地強奪など過酷な米軍統治下に置かれた沖縄」(しんぶん赤旗)。自公政権はいま、与那国、石垣、宮古島などの自衛隊基地新設や、県内各地で地对艦ミサイル部隊を配備。大規模な日米共同訓練も行われ、沖縄の基地負担は「軽減」どころか、質・量ともに増大しているのが現実。◆憲法無視の膨大な軍備費予算の実施状況が顕著な沖縄の実態だ。「戦争する国」を目指す自公政権を直ちに終わらせよう。

橋本・伊都支部

橋本の世界遺産「黒河道」と義人の碑

橋本市には「黒河道（くろこみち）」という高野参詣道の世界遺産があります。2016年に世界遺産に追加登録されました。全長約20kmで橋本市賢堂の定福寺から高野山内に至る

登山道で、他の参詣道より急登ですが距離が短いので昔、豊臣秀吉も高野山の帰途はこの道を利用していったそうです。私もコースを3回に分けて登ってみました。

麓ではまだ住まわれている家もありますが、途中の小学校跡からは静寂とした木々の間を登る参詣道としてふさわしい道だ

と思います。ただ世界遺産になったのに道中のトイレ整備が遅れており、簡易トイレが2か所あるだけで世界遺産にふさわしい早急な整備を期待しております。

地元橋本市の農家では「黒河道」を歩いて古くから農産物を



高野山に奉納しておりました。高野山の寺は弘法大師が開かれた真言密教の寺で人々に宗教を通して慕われていたそうでした。ところがある日、私が高野山の付近を散歩していた時、墓のはずれに「義人 戸谷新右衛門之碑」を見て高野山への認識が変わりました。

その碑には江戸時代、高野山寺院はこのあたりを領地として持っていました。年貢の計量マス（年貢の計量マス）をひと回り大さきマスに誤魔化して年貢を取り立て村人たちを困らせておりました。みかねた庄屋の戸谷新右衛門は幕府に直訴したため元の計量マスに戻されましたが、村の帰ってきた戸谷新右衛門は高野山の僧たちに石子詰め（石子詰め）の極刑で殺されたことと記されております。庄屋の身分であれば文句も言わず権力者に反抗しなければ安泰な人生が送れたのに、村人たちのために自分が犠牲になった戸谷新右衛門はまさに義人だと思ひ度々訪れて碑を読み返しております。

さて、想像ですが戸谷新右衛門が近

代に生きていたならきつと自分の命を懸けて戦争に反対していただろうし、そして現在まで生きていたならば国賠同盟や共産党にも入って国民の先頭に立って世の中の不正と闘っているだろうと思っております。

（橋本・伊都支部支部長 細川豊三郎）

衆議院選へ奮闘中です



国賠同盟の会員で前和歌山市議の井本ゆういち（有一）氏（写真）が日本共産党の衆議院選挙区（和歌山1区）の予定候補として奮闘しています。同氏よりメッセージを頂きました。

パーティー券裏金問題で国民の批判にまともに答えられない自公政権。これまでの悪政への怒りが一気に噴き出しています。

日本共産党は社会保障を充実させ、平和な日本を築くための確かな政策を掲げています。今度こそ自公政権にサヨナラし、希望ある政治を。井本ゆういち氏は、その先頭に立って頑張ります。

『犠牲
者名簿』
(第2版)から
(58)

松崎 茂

(まつざき しげる)

本籍：和歌山県西牟婁郡田辺
町福路町(現・田辺市)

1931年10月9日、新興教育

研究所支部のメンバーとして、田
辺町で検挙されたが、起訴はされ
なかった。田辺実業学校卒業後、
家業の岡茂書店を経営しながら、
全協の活動に協力した。

紀のくに歳時記散歩

16

紀のくに和歌山の歴史ある名所・仏
閣・碑などを気軽に散策します。

新宮 速玉大社

佐藤春夫の碑と記念館

「秋晴れよ 丹鶴城址児に見せむ 春夫」
佐藤春夫の句碑。

新宮と言えは熊野速玉大社。

正面の参道には、「熊野大権
現」と掲げた朱塗りの大鳥居
がそびえています。その大きな
鳥居の前に冒頭の、佐藤春夫
の句碑(写真)があります。19
87(昭和62)年に建てられて
います。佐藤春夫記念館は、東
京都文京区にあった春夫の自
宅を移築(改造)されて、速玉大社の境内にあります。



野口雨情の詩碑

雨情の詩碑は、同大社の狛犬の側に「国のまもりか
速玉さまの 御庭前まで神さびる」があります。

毛利柴庵と牟婁新報

『牟婁新報』について、私は以前からどんないきさ
つで、毛利柴庵(さいあん)が南紀で牟婁新報を創刊

することになったのか、知りたいと思っていました。

荒畑寒村、菅野須賀子、そして大石誠之助、幸徳秋
水等々、当時としては超越した先進的な人々の交流
が、南紀の牟婁新報を中心に集うことになったのか。

それが、前回、勝浦の項でも紹介した『熊野・新宮
発、ふるさとの文化を彩った人々』(人物アラカル
ト作成委員会編著)に詳しくありました。

同書によると、毛利柴庵(本名・清雅)は新宮の人
で、田辺の高山寺で得度僧になり、高野山に学
び、高山寺の第15世住職に。そこで『牟婁新報』を発
刊。その後東京にも行くが、1903年に田辺に帰っ
たとあります。

大逆事件の顕彰碑

同書には「自由思想弾圧のための国家的陰謀であ
る真相が判明し…」と、大逆事件の名誉回復と顕彰
の動きが広がる中で、新宮市でも2001年に市議
会全員一致で、顕彰が決議され、翌年顕彰碑が建
立された、と紹介しています。顕彰碑は、新宮駅近
くの公園に建立されています。

速玉の櫛に宿りぬ雀の子

鈴木しげお

蓬萊の月いまのぼる徐福の碑

芝 彰夫

(参考資料…地名・俳枕必携)

〔紀のくに歳時記散歩 おわり〕

(御愛読有難うございました。 瀬戸 正男)